

赤穂市消防施設個別施設計画



赤穂市消防本部
令和3年3月
(令和7年3月改訂)

目 次

1. 対象施設	1
2. 対象施設の現状と課題	2
3. 個別施設の状況	3
4. 過去の大規模改修等の状況一覧	14
5. 対策の優先順位の考え方	17
6. 対策費用について	17
7. 施設整備計画一覧	18



市の花 ツツジ



市の木 サクラ

1. 対象施設

地方公共団体における財政状況は、全国的に生産年齢人口の減少に伴う税収の減少や高齢化の進展に伴う社会保障関連経費の増大など厳しい状況にあり、建て替えなどの老朽化対策や人口減少に伴う現施設の見直しなどが大きな課題となっています。

平成26年4月22日には総務省より「公共施設等総合管理計画」を策定するよう要請があり、策定にあたっての方針が示されました。

この方針に基づき、本市においては平成29年3月に「赤穂市公共施設等総合管理計画」を策定いたしました。この計画において対象となる消防施設について、令和3年3月に個別施設計画を策定し、現在対象施設数は28施設となっています。

【消防施設】

令和7年3月1日現在

No.	施設名	建築年	建物構造	建物構造(m ²)
1	消防庁舎(防災センター)	H10	鉄骨鉄筋コンクリート造	3,912
2	消防団第1分団詰所兼車庫	S63	鉄筋コンクリート造	65
3	消防団第2分団詰所兼車庫	S50	鉄筋コンクリート造	60
4	消防団第3分団詰所兼車庫	S62	鉄筋コンクリート造	61
5	消防団第4分団詰所兼車庫	H28	鉄筋コンクリート造	90
6	消防団第5分団詰所兼車庫	H14	鉄筋コンクリート造	80
7	消防団第6分団詰所兼車庫	S61	鉄筋コンクリート造	61
8	消防団第7分団詰所兼車庫	H1	鉄筋コンクリート造	61
9	消防団第8分団詰所兼車庫	S60	補強コンクリートブロック造	60
10	消防団第9分団詰所兼車庫	S56	補強コンクリートブロック造	61
11	消防団第10分団詰所兼車庫	S55	補強コンクリートブロック造	60
12	消防団第11分団詰所兼車庫	R6	鉄筋コンクリート造	96
13	消防団第12分団詰所兼車庫	S53	補強コンクリートブロック造	60
14	消防団第13分団詰所兼車庫	R3	鉄筋コンクリート造	90
15	消防団第14分団詰所兼車庫・水防倉庫	H31	鉄筋コンクリート造	111
16	消防団第15分団詰所兼車庫	S51	補強コンクリートブロック造	60
17	高雄水防倉庫	S51	補強コンクリートブロック造	16
18	高野水防倉庫	S59	木造	33
19	新田水防倉庫	H4	補強コンクリートブロック造	32
20	東有年水防倉庫	S50	補強コンクリートブロック造	15
21	西有年水防倉庫	R3	プレハブ造	15
22	福浦水防倉庫	S53	補強コンクリートブロック造	15
23	坂越第二水防倉庫	S54	補強コンクリートブロック造	15
24	千鳥水防倉庫	H18	補強コンクリートブロック造	35
25	坂越第1水防倉庫	S60	木造	33
26	高雄第2水防倉庫	H4	補強コンクリートブロック造	32
27	尾崎水防倉庫	S61	木造	33
28	赤穂市消防資機材庫	H2	鉄骨造	120

2. 対象施設の現状と課題

28施設の内訳については、消防庁舎が1施設、消防団分団詰所兼車庫が15施設、水防倉庫等が12施設となっています。施設の半数以上が建築後30年以上を経過しており、そのうち10施設が建築後40年以上経過しています。

消防庁舎は、新耐震基準の建物ですが、各設備に老朽化が見られ計画的な改修が必要となっています。

また、消防団詰所は敷地、建屋ともスペースが不足している箇所があります。

【対象施設情報】

No.	施設名	土地 権利	耐震状況		老朽状況	
			耐震診断	耐震改修	築年数 (R6時点)	大規模改修
1	消防庁舎（防災センター）	市	新耐震基準	—	26	—
2	消防団第1分団詰所兼車庫	市	新耐震基準	—	36	実施済
3	消防団第2分団詰所兼車庫	市	未実施	未実施	49	実施済
4	消防団第3分団詰所兼車庫	市	新耐震基準	—	37	実施済
5	消防団第4分団詰所兼車庫	市	新耐震基準	—	8	—
6	消防団第5分団詰所兼車庫	市	新耐震基準	—	22	—
7	消防団第6分団詰所兼車庫	市	新耐震基準	—	38	実施済
8	消防団第7分団詰所兼車庫	市	新耐震基準	—	35	実施済
9	消防団第8分団詰所兼車庫	市	新耐震基準	—	39	実施済
10	消防団第9分団詰所兼車庫	市	未実施	未実施	43	実施済
11	消防団第10分団詰所兼車庫	市	未実施	未実施	44	実施済
12	消防団第11分団詰所兼車庫	市	新耐震基準	—	0	—
13	消防団第12分団詰所兼車庫	市	未実施	未実施	46	実施済
14	消防団第13分団詰所兼車庫	県・神社	新耐震基準	—	3	—
15	消防団第14分団詰所兼車庫・水防倉庫	市	新耐震基準	—	5	—
16	消防団第15分団詰所兼車庫	市	未実施	未実施	48	実施済
17	高雄水防倉庫	市	対象外	—	48	—
18	高野水防倉庫	県	新耐震基準	—	40	実施済
19	新田水防倉庫	市	新耐震基準	—	32	—
20	東有年水防倉庫	市	対象外	—	49	—
21	西有年水防倉庫	県・神社	対象外	—	3	—
22	福浦水防倉庫	私有地	対象外	—	46	—
23	坂越第二水防倉庫	市	対象外	—	45	—
24	千鳥水防倉庫	市	新耐震基準	—	18	—
25	坂越第1水防倉庫	県	新耐震基準	—	39	実施済
26	高雄第2水防倉庫	市	新耐震基準	—	32	—
27	尾崎水防倉庫	県	新耐震基準	—	38	実施済
28	赤穂市消防資機材庫	市	新耐震基準	—	34	—

3. 個別施設の状況

(1) 消防庁舎（防災センター）

所在地：赤穂市加里屋1120番地120

建築年：平成10年

建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

延床面積：3,912㎡



① 現状と課題

平成10年、国土庁の地域防災拠点施設整備モデル事業として兵庫県内で初めての指定を受け、防災センター機能を備えた消防庁舎を市の中心部から現在の場所に移転しました。

高規格救急車3台を含む消防車両18台を配備し、本市の消防防災の拠点施設としての役割を担っています。

3階建ての消防庁舎及び訓練塔は建築後26年が経過しており、地盤沈下により庁舎の一部で段差が生じ、また各設備も老朽化が見られるため、その都度改修工事を行っている状況であり、長寿命化に向けた計画的な整備が必要となっています。

② 方向性

消防庁舎は災害時において市民の安全安心を守る重要な施設であるため、今後も適切な維持管理を実施していかなければなりません。

施設に老朽化が見られるため、不具合箇所が年々増加する恐れがあります。防災拠点施設という位置づけからも、不具合が生じてから対応する事後対応ではなく、修繕箇所を早期に見極め、予算確保を講じるなど、計画的な改修を今後行っていく必要があります。



(2) 消防団第1分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市城西町11

建築年：昭和63年

建物構造：鉄筋コンクリート造

延床面積：65㎡

管轄区域：加里屋、加里屋南、上仮屋、
上仮屋北、上仮屋南、元町、
山手町、寿町、城西町、
若草町、加里屋中洲の一部、長池町、
惣門町、六百目町、三樋町、西浜町



① 現状と課題

市内中心部を管轄する第1分団詰所兼車庫は、昭和63年に建設されました。平成29年度に改修工事（内装改修、屋根の防水工事等）を実施しております。詰所兼車庫前は、道幅も広く消防車の出動や団員の参集に際して良好な立地状況にあります。

② 方向性

適切な維持管理により施設の機能を保全していきます。

(3) 消防団第2分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市中広833

建築年：昭和50年

建物構造：鉄筋コンクリート造

延床面積：60㎡

管轄区域：中広、加里屋中洲の一部、
細野町



① 現状と課題

市内の住宅密集地に配置され、南北に長い区域を管轄しています。

昭和50年に建設され、市内の15ヶ分団で最も古い詰所兼車庫になります。施設の老朽化が進んでいるうえ敷地も狭く、また、詰所兼車庫前の道幅も狭い状況にあります。

② 方向性

老朽化が進み、敷地、建屋ともスペースが不足しているため、移転を含めた建替えの検討をする必要があります。

(4) 消防団第3分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市塩屋586番地2
建築年：昭和62年
建物構造：鉄筋コンクリート造
延床面積：61㎡
管轄区域：塩屋、宮前町、大町、
板屋町、片浜町、平成町、
磯浜町、古浜町の一部



① 現状と課題

人口の多い塩屋地区などを管轄する3分団詰所は昭和62年に建設されましたが、車庫や和室に一部老朽化が見られたために、平成28年度に改修工事（内装改修等）を行いました。

国道250号線に近い場所に位置していますが、詰所兼車庫前のスペースは十分とは言えない状況にあります。

② 方向性

平成28年度に改修工事を行っており、今後も適切な維持管理により施設の機能を保全していきます。

(5) 消防団第4分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市新田679番地1
建築年：平成28年
建物構造：鉄筋コンクリート造
延床面積：90㎡
管轄区域：新田、大津、西浜北町、
古浜町の一部、黒崎町



① 現状と課題

山陽自動車道 赤穂インターチェンジの近くに平成28年に新しく移転新築しました。

詰所や車庫前のスペースも十分に確保され、車両も出入りしやすくなったため、運用面等に大きな課題はありません。

② 方向性

適切な維持管理により施設の機能を保全していきます。

(6) 消防団第5分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市折方889番地5
建築年：平成14年
建物構造：鉄筋コンクリート造
延床面積：80㎡
管轄区域：木生谷、折方、鷓和



① 現状と課題

木生谷、折方、鷓和地区の西部地域を管轄しています。

平成14年に現在の場所に移転しました。詰所や車庫前のスペースも十分に確保され、車両も出入りしやすい良好な立地状況にあります。

② 方向性

適切な維持管理により施設の機能を保全していきます。

(7) 消防団第6分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市さつき町10番地14
建築年：昭和61年
建物構造：鉄筋コンクリート造
延床面積：61㎡
管轄区域：尾崎、大橋町、松原町、
中浜町、さつき町、南宮町、
清水町、向山、海浜町



① 現状と課題

人口も多い尾崎地区を管轄する第6分団の詰所兼車庫は昭和61年に建設され、平成28年に外壁等の改修を行っています。

車両は出入りしやすく、出動や団員の参集に際して良好な立地状況にあります。

② 方向性

適切な維持管理により施設の機能を保全していきます。

(8) 消防団第7分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市正保橋町1番地7
建築年：平成元年
建物構造：鉄筋コンクリート造
延床面積：61㎡
管轄区域：御崎、元塩町、本水尾町、
朝日町、正保橋町、元沖町、
元祿橋町、東浜町



① 現状と課題

御崎地区を管轄する第7分団詰所兼車庫は平成元年に建設されました。

平成26年度に雨漏り等が見られたため、屋上防水工事や外壁塗装に合わせ和室の改修などの内部の改修を行いました。

団員が集まりやすい場所ではありますが、詰所兼車庫のスペースは十分とは言えない状況にあります。

② 方向性

適切な維持管理により施設の長寿命化を図る必要があります。

(9) 消防団第8分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市坂越1533
建築年：昭和60年
建物構造：補強コンクリートブロック造
延床面積：60㎡
管轄区域：坂越



① 現状と課題

坂越地区を管轄する8分団は昭和60年に建設され、港町の面影が感じられる風情ある古い町並みに合うような外観となっています。

消防車の出動や団員の参集に際して良好な立地状況にありますが、詰所兼車庫前のスペースは不足している状況にあります。

② 方向性

適切な維持管理により施設の長寿命化を図る必要があります。

(10) 消防団第9分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市高野439番地3
建築年：昭和56年
建物構造：補強コンクリートブロック造
延床面積：61㎡
管轄区域：高野



① 現状と課題

第9分団の詰所兼車庫は、昭和56年に建設され、平成28年に車庫や詰所内部の改修工事を行っています。

高野地区を管轄しており、団員定数が市内で最も少ない分団です。

敷地、建屋ともに狭く、スペースが不足している状況にあり、また大雨による浸水被害を受ける可能性があります。

② 方向性

老朽化が進んできているため、建替え若しくは適切な維持管理により施設の長寿命化を図る必要があります。

(11) 消防団第10分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市砂子180番地4
建築年：昭和55年
建物構造：補強コンクリートブロック造
延床面積：60㎡
管轄区域：浜市、砂子、北野中、南野中



① 現状と課題

土地区画整理事業により人口増となっている浜市、砂子、北野中、南野中地区を管轄する第10分団の詰所兼車庫は、昭和55年に建設され、建築後40年以上が経過し老朽化が進んでいます。

また、敷地、建屋ともにスペースが不足している状況にあります。

② 方向性

老朽化が進んできているため、建替え若しくは適切な維持管理により施設の長寿命化を図る必要があります。

(12) 消防団第11分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市周世1358番地

建築年：令和6年

建物構造：鉄筋コンクリート造

延床面積：96㎡

管轄区域：木津、目坂、高雄、周世、
真殿、中山



① 現状と課題

木津、目坂、高雄、周世、真殿、中山地区を管轄する第11分団詰所兼車庫は老朽化に伴い令和6年に建替えを行いました。

詰所や車庫前のスペースも十分に確保され、車両も出入りしやすく、団員の参集や出勤など運用面等に大きな課題はありません。

② 方向性

新しく建替えられた施設であり、今後長期間使用できるように適切な維持管理を行っていきます。

(13) 消防団第12分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市東有年42番地1

建築年：昭和53年

建物構造：補強コンクリートブロック造

延床面積：60㎡

管轄区域：東有年、有年檜原



① 現状と課題

東有年、有年檜原地区を管轄する第12分団詰所兼車庫は、昭和53年に建設されました。建屋は狭く、施設の老朽化が進んでいます。

また、道路を挟んだ向かいに保育所があるものの、袋小路の土地に建設されているため車の交通量はほとんどない場所にあります。

② 方向性

老朽化が進んでいるため、建替え若しくは適切な維持管理により施設の長寿命化を図る必要があります。

(14) 消防団第13分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市西有年1264
建築年：令和3年
建物構造：鉄筋コンクリート造
延床面積：90㎡
管轄区域：西有年



① 現状と課題

西有年を管轄する第13分団詰所兼車庫は、老朽化に伴い建替えをいたしました。詰所や車庫前のスペースも十分に確保され駐輪場も整備いたしました。団員の参集や出動など運用面等に大きな課題はありません。

② 方向性

新しく建替えられた施設であり、今後長期間使用できるように適切な維持管理を行っていきます。

(15) 消防団第14分団詰所兼車庫・水防倉庫

所在地：赤穂市有年横尾279
建築年：平成31年
建物構造：鉄筋コンクリート造
延床面積：111㎡
管轄区域：有年原、有年横尾、有年牟礼



① 現状と課題

有年原、有年横尾、有年牟礼地区を管轄する第14分団詰所兼車庫は、平成31年に国道2号線に面していた場所から、現在の場所に移転新築いたしました。

詰所や車庫前のスペースも十分に確保され、車両も出入りしやすくなったため、運用面等に大きな課題はありません。

また、詰所内に水防倉庫も設置されています。

② 方向性

新しく建替えられた施設であり、今後長期間使用できるように適切な維持管理を行っていきます。

(16) 消防団第15分団詰所兼車庫

所在地：赤穂市福浦1948番地1
建築年：昭和51年
建物構造：補強コンクリートブロック造
延床面積：60㎡
管轄区域：福浦



① 現状と課題

最西端の福浦地区を管轄する15分団の詰所兼車庫は、昭和51年に建設され建築後45年以上が経過し、建物全体に老朽化が見られます。

人口減少が続き、高齢化率も高い地域であるため団員の確保に苦慮しています。

② 方向性

老朽化が進んでいますが、団員数が年々減少してきているため消防団、地元自治会とも十分協議しながら建替えの検討をする必要があります。

(17) 高雄水防倉庫

所在地：赤穂市高雄1721番地70
建物構造：補強コンクリートブロック造
建築年：昭和51年
延床面積：16㎡

① 方向性

適切な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。

(18) 高野水防倉庫

所在地：赤穂市高野1384
建物構造：木造
建築年：昭和59年
延床面積：33㎡

① 方向性

適切な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。

消防団詰所建設の際は、同一敷地内での設置を検討します。

(19) 新田水防倉庫

所在地：赤穂市新田960番地4
建物構造：補強コンクリートブロック造
建築年：平成4年
延床面積：32㎡

① 方向性

適切な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。

(20) 東有年水防倉庫

所在地：赤穂市東有年42 建築年：昭和50年
建物構造：補強コンクリートブロック造 延床面積：15㎡

① 方向性

適切な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。
消防団詰所建設の際は、同一敷地内での設置を検討します。

(21) 西有年水防倉庫

所在地：赤穂市西有年1264 建築年：令和3年
建物構造：プレハブ 延床面積：15㎡

① 方向性

適切な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。
(第13分団詰所新築の際、プレハブの水防倉庫を敷地内に設置しました。)

(22) 福浦水防倉庫

所在地：赤穂市福浦1009番地1 建築年：昭和53年
建物構造：補強コンクリートブロック造 延床面積：15㎡

① 方向性

適切な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。
消防団詰所建設の際は、同一敷地内での設置を検討します。

(23) 坂越第二水防倉庫

所在地：赤穂市坂越1313 建築年：昭和54年
建物構造：補強コンクリートブロック造 延床面積：15㎡

① 方向性

老朽化が進んでいるため建替え若しくは適切な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。

(24) 千鳥水防倉庫

所在地：赤穂市中広1819 建築年：平成18年
建物構造：補強コンクリートブロック造 延床面積：35㎡

① 方向性

適切な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。

(25) 坂越第1水防倉庫

所在地：赤穂市坂越 堤防堤外10番地 建築年：昭和60年
建物構造：木造 延床面積：33㎡

① 方向性

適切な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。
消防団詰所建設の際は、同一敷地内での設置を検討します。

(26) 高雄第2水防倉庫

所在地：赤穂市高雄1721番地70 建築年：平成4年
建物構造：補強コンクリートブロック造 延床面積：32㎡

① 方向性

適切な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。
消防団詰所建設の際は、統合や同一敷地内での設置を検討します。

(27) 尾崎水防倉庫

所在地：赤穂市尾崎 三原地先 建築年：昭和61年
建物構造：木造 延床面積：33㎡

① 方向性

適切な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。

(28) 赤穂市消防資機材庫

所在地：赤穂市塩屋1106番地12
建築年：平成2年
建物構造：鉄骨造
延床面積：120㎡

① 方向性

適切な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。



4. 過去の大規模改修等の状況一覧

過去の改修については、以下のとおりです。

消防本部については、移転・建替えを行った平成10年以降の改修を記載、消防団詰所兼車庫、水防倉庫については平成4年以降の改修を記載しています。

(1) 消防本部（防災センター）

H10	旧消防庁舎から移転・建替え
H11	
H12	
H13	
H14	
H15	
H16	
H17	
H18	
H19	
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	空調設備改修工事
H30	庁舎玄関改修工事、庁舎照明器具取替修繕
H31	非常用発電設備修繕
R1	庁舎浴室・脱衣場水栓修繕
R2	庁舎照明器具取替修繕、非常用発電設備修繕、女性消防吏員用施設改修工事
R3	庁舎駐車場舗装修繕、庁舎シャッター改修工事
R4	庁舎自動火災報知設備修繕
R5	非常用発電設備修繕
R6	職員仮眠室ドア等修繕

(2) 消防団詰所兼車庫

年/分団	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
H4											▲		●		
H5					●										
H6				●	●					●					
H7															
H8									▲					●	
H9									●						
H10		●													▲
H11												▲			
H12													▲		
H13															
H14					◎										
H15															
H16															
H17															
H18		●													
H19															
H20															
H21															
H22															
H23															
H24															
H25															
H26															
H27							△								
H28			△	◎		●			△						
H29															
H30	△														
H31														◎	
R1															
R2															
R3													◎		
R4															
R5															
R6											◎				

○内部改修（内壁、畳等） ●外部改修（外壁、屋根、シャッター等）
 △内外外部改修 ▲水洗化改修 □改築 ◎建替え

(3) 水防倉庫

	高雄	高野	新田	有年横尾	東有年	西有年	福浦	坂越第2	千鳥	坂越第1	高雄第2	尾崎	資機材庫 赤穂市消防
H4			◎										
H5													
H6													
H7													
H8													
H9													
H10													
H11													
H12													
H13													
H14													
H15													
H16													
H17													
H18									□				
H19													
H20													
H21													
H22													
H23													
H24													
H25													
H26													
H27		●		●						●		●	
H28													
H29													
H30													
H31				◎									
R1													
R2													
R3						◎							
R4													
R5													
R6													

○内部改修

●外部改修（外壁、屋根、扉等）

□改築

◎建替え

5. 対策の優先順位の考え方

市が所有管理している28の消防施設のうち、大規模改修が必要となる建築後30年以上経過する施設は20施設ありますが、うち13施設は大規模改修を実施しています。

しかしながら耐震改修は実施しておらず、また、敷地や付近道路が狭隘な場所にある消防施設もあることなどから速やかな対策が必要となっています。

特に地域防災の拠点施設となる消防団詰所は優先的に対策を講じる必要があり、老朽化が進み耐震性がなく、敷地及び建屋に十分なスペースがない詰所兼車庫については、消防団や地元自治会等とも十分な協議を行ったうえ、移転を含めた建替え若しくは適切な維持管理による施設の長寿命化を図ってまいります。

水防倉庫等の施設については、単独での建替えは予定していませんが、消防団詰所兼車庫を建替える場合には、同一敷地内での建設を検討いたします。



6. 対策費用について

詰所兼車庫の建設費用については、移転に伴う土地の購入の有無によって違いが生じるなど、各詰所兼車庫の状況によって費用は変わってきます。

令和3年と令和6年に完成した2つの詰所兼車庫の事業費は下記のとおりです。建設場所が確定してから詰所兼車庫が完成するまでは通常、実施設計で1年、詰所兼車庫建設で1年の計2年は必要となります。

	第13分団詰所（R3年完成） （西有年水防倉庫建設費含む）	第11分団詰所（R6年完成）
用地取得費	—	—
実施設計	2,913,900円	3,502,400円
建設費等	47,559,681円	65,626,406円
総事業費	50,473,581円	69,128,806円

※1 第13分団詰所兼車庫及び併設されていた西有年水防倉庫は移転せず、以前と同じ場所に建替えをしました。

※2 第11分団詰所兼車庫は場所を移転し、新しく建設しました。

7. 施設整備計画一覧

建 物 名	計 画 期 間										計 画 内 容
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
消防庁舎(防災センター)											適切な維持管理
第1分団詰所兼車庫											適切な維持管理
第2分団詰所兼車庫	← 移転(場所選定)・新築についての協議 →										移転・新築検討
第3分団詰所兼車庫											適切な維持管理
第4分団詰所兼車庫											適切な維持管理
第5分団詰所兼車庫											適切な維持管理
第6分団詰所兼車庫											適切な維持管理
第7分団詰所兼車庫											適切な維持管理
第8分団詰所兼車庫											適切な維持管理
第9分団詰所兼車庫	← 移転(場所選定)・新築についての協議 →										移転・新築検討
第10分団詰所兼車庫	← 移転(場所選定)・新築についての協議 →										移転・新築検討
第11分団詰所兼車庫											適切な維持管理
第12分団詰所兼車庫	← 移転(場所選定)・新築についての協議 →										移転・新築検討
第13分団詰所兼車庫											適切な維持管理
第14分団詰所兼車庫											適切な維持管理
第15分団詰所兼車庫	← 移転(場所選定)・新築についての協議 →										移転・新築検討
高雄水防倉庫	← 移転(場所選定)・新築についての協議 →										移転・新築検討
高野水防倉庫	← 移転(場所選定)・新築についての協議 →										移転・新築検討
新田水防倉庫											適切な維持管理
東有年水防倉庫	← 移転(場所選定)・新築についての協議 →										移転・新築検討
西有年水防倉庫											適切な維持管理
福浦水防倉庫	← 移転(場所選定)・新築についての協議 →										移転・新築検討
坂越第二水防倉庫											適切な維持管理
千鳥水防倉庫											適切な維持管理
坂越第1水防倉庫	← 移転(場所選定)・新築についての協議 →										移転・新築検討
高雄第2水防倉庫	← 移転(場所選定)・新築についての協議 →										移転・新築検討
尾崎水防倉庫											適切な維持管理
赤穂市消防資機材庫											適切な維持管理

※ 協議により決定した詰所兼車庫から設計・改修を実施していきます

